

BPT (バイオマスプロジェクトチーム)だより No.37

<http://www.pref.chiba.lg.jp/svozoiku/e/ichihai/bio/biotop.htm>



平成19年12月14日 (金)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況等

○「バイオマス立県ちば」アドバイザー委員会の開催

11月29日、第9回「バイオマス立県ちば」アドバイザー委員会が開催されました。

今回は今年5月に竣工式を行った佐倉市の(株)アグリガイアシステム循環型飼料化センターを視察した後、今後の食品残さの飼料化事業の推進や平成20年度事業等について意見交換が行われました。



「バイオマス立県ちば」アドバイザー委員会

○バイオマス利活用推進方策検討調査

平成19年度新規事業として、バイオマス利活用推進方策検討調査を行います。

調査は、県内の食品製造業及び食品小売業等を対象とし、食品廃棄物や廃食用油の発生量及び再利用できる可能性のある量をできるだけ具体的に把握し、家畜用飼料やバイオ燃料等への利活用の可能性等の検討を行います。

また、現在、ほとんど利用されていない林地残材の賦存量及び再利用できる可能性のある量を把握することにより、マテリアル及びエネルギー利用できる可能性等の検討を行います。

○第3回地域LCA協議委員会の開催

(LCA: ライフサイクルアセスメント)

11月12日、(独)産業技術総合研究所LCA研究センターと千葉県を構成メンバーとする地域LCA協議委員会が開催されました。

今回は県内ごみ処理施設調査に基づく現状評価や千葉市で実施したごみの分別・有料化についてのアンケートの結果分析等の報告等の後、意見交換を行いました。



地域LCA協議委員会

2. 普及啓発活動

○山武市立日向小学校

11月2日、山武市立日向小学校の5、6年生(113名)を対象に総合的な学習(バイオマスの学習)の一環として、「“バイオマス”って何だろう」というテーマで授業を行いました。「バイオマス」とは何か、なぜバイオマスを使うのかについて、ミニゲームなどを行いながら、子ども達と一緒に考えました。

日向小学校では、“サンプスギ”の保全や資源の利用についてフィールドにおける体験学習なども実施しており、12月には市内のバイオマス工場において、自分たちが間伐したサンプスギから木質プラスチックの植木ポットを作る体験が予定されています。

○ちば発 産地物語 見本市・商談会

11月26日、生産者と食品製造業者、流通業者等の相互交流や情報交換の場として「ちば発産地物語見本市・商談会」が都内で開催されました。

バイオマスプロジェクトチームも昨年に続きブースを出展し、バイオマスプラスチック製品の展示や紹介等を行いました。



ちば発 産地物語 見本市・商談会

○館山市勉強会

11月26日、館山市がバイオマスに関連のある部署の職員で構成する「バイオマス利活用推進プロジェクトチーム」を立ち上げたことに伴う勉強会に講師として参加しました。

館山市では、平成21年度にバイオマスタウン構想の策定を目標としており、バイオマスプロジェクトチームも積極的にサポートして行く予定です。



館山市勉強会

○11月に実施した講演等

- ・大多喜高校環境教育特別授業（2日・大多喜高校）
生徒約50人にバイオマスについて講演及び
バイオガスバイクによる走行実演
- ・環境衛生促進協議会研修会（7日・教育会館）
市町村の廃棄物担当者へ講演
- ・君津市生涯学習フェスティバル
（17、18日君津市民文化ホール）
環境コーナーにブース出展
- ・千葉県高等学校教育研究会理科部会理科総合分科
会研究協議会（21日・総合教育センター）
県立高校理科担当教員へ講演
- ・ヤングフェスティバル（25日・青少年女性会館）
啓発資料等の配布、アンケート実施



バイオガスバイクの実演（大多喜高校）